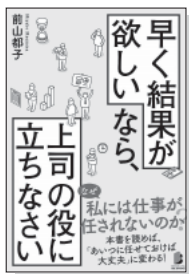


# あとかきのあとかき ~著者から人事担当者へのメッセージ

## 『早く結果が欲しいなら、 上司の役に立ちなさい』



2021年3月刊  
発行：白夜書房  
販売：1,650円

### 主な内容

- そもそもなぜ仕事をするのか、2つの目的を考える
- 仕事をおもしろくする方法、それは「主役」として輝くこと
- 会社から求められる役割を明確にする3つのシッパ
- ステージに応じて比重が変わる3つのスキルを磨く

### 本著を書いた理由

現状、若手社員の離職状況はコロナ前に比べて幾分落ち着いていると、人事ご担当の方々から聞いています。しかし、「仕事が合わない」「人間関係がうまくいかない」「労働条件が悪い」といった、今までの離職理由が解消されたわけではありません。彼らは、今は退職しても次に働く場所が容易に見つからないことを知っています。人事ご担当の皆さんも、入社早々オンライン研修やテレワークが始まり、同期ともつながれず不安を抱えながら働く若手社員の今後を懸念されているのではないのでしょうか。また、「転職」「独立」を是とする昨今の風潮に、簡単に退職してしまう若手社員に違和感を抱いているのではないのでしょうか。

現状を危惧してか、ここ2～

3年は「人材育成」や「マネジメント」をテーマにした研修依頼をいただきます。また、ジェネレーションギャップに悩む管理職向けにそれらをテーマにした書籍が数多く出版されています。

しかし、肝心の若手社員が「生き生きと働く」ための基本を具体的な事例で示した本が少ないことに気がつきました。「生き生きと働く」とは、仕事に自立的に挑むこと、その結果、誰かの幸せへの貢献と、自身の成長を実感できること、つまり「主役として働く」とことだと私は考えています。

本来、誰もが「自分の能力を無限に伸ばす」力を持っているはずで、そこで、働くすべての人に「自分が成長できた喜び」を体感してほしい、先が見えない不安を抱えて働く若者たちに「働き甲斐を与えたい」、その想いが膨らみ、この本を書きました。



インスピーレマネジメント  
代表 前山 都子

なぜなら、管理職になり大型店舗の支店長を任された私ですが、実は親のたつての願いで大学進学を諦め、一番嫌だった銀行に就職し、仕事が合わず昇格もできず毎日「辞めたい」という思いを抱えながら仕事を続けた過去があるからです。

現在マネジメント研修のみならず、本著の内容をベースとした3年から5年目の社員研修を実施していますが、その中で「辞めることを留まった」と話してくれる受講者がいます。しかし、研修で会う受講者には限りがあることからこの本の出版に至りました。

### 生き生きと働くために

本著では、そもそも「働く」とはどういうことか、「主役になって働く」の意味と意義、そしてたとえジョブ型雇用が主流になると、企業から求められる基本的な役割と、役割を遂行するために必要となる基本スキルを分かりやすく解説しています。

本著をきっかけに、意識と行動が変わり、生き生きとキャリアを重ねることができる若手社員が、1人でも多く増えることを願ってやみません。